

22nd ミュージックフェスティバル2020 広瀬のひびき

Swing & Harmony

レポート

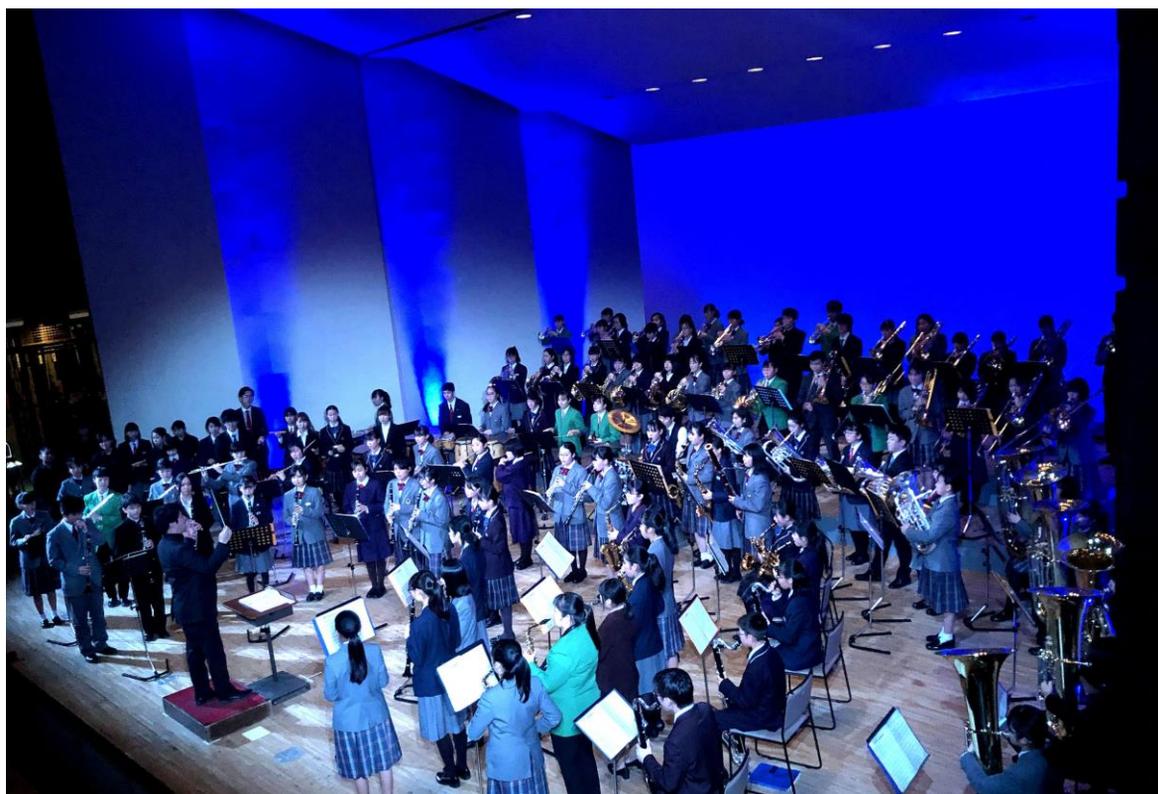
- ★ 開催日 令和2年1月26日（日）
- ★ 時間 12時15分から16時まで
- ★ 会場 広瀬文化センター ホール
- ★ 来場者 延べ1,500人

22回目 新たな時代とともに

“文化的広がり”や“人と人とのつながり”を創り出し、この地域における芸術・文化の向上と交流を図ることを目指して始まった音楽イベント「ミュージックフェスティバル 広瀬のひびき」。

22回目の開催となる今回は、「令和」という新しい時代がスタートしてから初めての開催となりました。令和には、「beautiful harmony」～美しい調和～という意味が込められているそうです。出演者の皆さん、一人ひとりが奏でる音が調和して創り上げられた「広瀬のひびき」。そんな新しい時代にぴったりの音楽祭になったのではないのでしょうか。

今年もたくさんの感動が生まれ、音楽を通じて地域のみなさんの心が一つになりました。会場に足を運べなかった皆さんにもこの感動をお伝えするとともに、ご来場いただいた皆さんには、もう一度当日の感動を思い出していただければと思います。



学校法人 愛子学園 大沢幼稚園

❄️ 勇気100% ❄️ なみだのにじ

合唱編のオープニングを飾るのは大沢幼稚園の年長さん、うさぎ組とりす組44名の皆さんです。もうすぐ小学生になる皆さん。新たな場所へ勇気を持って進んで行けるように、1曲目の「勇気100%」を歌いました。そして、幼稚園で友達と過ごしたたくさんの思い出を胸に、2曲目の「なみだのにじ」を歌ってくれました。元気いっぱい一生懸命に歌う子どもたちの姿に、会場の皆さんも笑みがこぼれていました。



友達とたくさん練習した成果を披露してくれました。振付もバッチリ決まっています。

仙台市立錦ヶ丘中学校 合唱部

❄️ 愛にできることはまだあるかい ❄️ なみだうた ❄️ 陽のあたる道

昨年度、広瀬中学校合唱部として「広瀬のひびき」に出演した生徒さんもおられますが、今年度は錦ヶ丘中学校合唱部として、新たな気持ちで歌ってくれました。部員10名の繊細なハーモニーが、ホール全体に響きわたりました。アカペラ曲も披露して頂き、その美しく澄んだ歌声に、思わずうっとりしてしまいました。



皆さんの美しいハーモニーがホールを包みました。

仙台市立広瀬中学校 合唱部

❄️ Zapata txuriak -サパタ チュリアク- ❄️ Laudate Dominum -ラウダテ ドミニム-
❄️ 小さな恋のうた

さて、次に登場したのは、中学生の合唱としては「広瀬のひびき」最多、13回目の出場を誇る広瀬中学校合唱部の皆さんです。今年の2月2日にはここ広瀬文化センターが会場のアンサンブルコンテストにも出場。コンテストで歌う曲をはじめ、ロックが原曲の歌もあり、バラエティに富んだ曲を披露してくれました。



気持ちがこもった歌声に会場の皆さんも魅了されていました。



ひろせ合唱の会

❄️ 東北うたの本より「伸びるよ若芽」 ❄️ 東北うたの本より「ぼたん雪」
❄️ 「Cantare」～歌よ大地に響け～

ひろせ合唱の会は、広瀬地区を中心とした合唱団13団体、約250名の会員で構成されています。今回は、「東北うたの本」から2曲、そして「Cantare」と、合唱の会とつながりの深い曲を披露していただきました。年齢も様々なメンバーが、ぴったりと息が合ったハーモニーを奏で、その歌声に会場も感動に包まれていました。



想いがこもった歌声が心に響きました。トランペットのソロ演奏も見事でした。

仙台市立愛子小学校 4年生

❄️ 愛子小学校 校歌 ❄️ Tomorrow

愛子小学校は今年で開校から10周年,今回出演していただいた4年生の皆さんもまた10歳。学校と同級生の皆さんが,開校からの一つの節目に校歌を歌いました。2曲目の「Tomorrow」は,仲間たちと手を取り合って,素晴らしい未来へと向かっていこうという願いを込めて歌ってくれました。子どもたちのエネルギー溢れる歌声に会場の皆さんも元気をもらったのではないのでしょうか。



元気いっぱいの歌声で自慢の校歌を歌ってくれました。



全体合唱

カッパダ川・ありがとうの花

地域を流れる小川を題材として、作詞・作曲とも地元の方から募集してつくられた「カッパダ川」。地域にゆかりのある歌として合唱編の締めくくりに歌い続けています。また、これに加え、NHK「おかあさんといっしょ」でおなじみの「ありがとうの花」の2曲を、合唱編の出演者と会場の皆さんで歌いました。出演者全員で合わせたのが、当日のリハーサルだったとは思えないほど素晴らしいハーモニーが生まれ、ホールいっぱいに響く歌声に、会場全体が一つになったと感じられた瞬間でした。

仙台市立広陵中学校 ギター部

❄️ イッツ・ア・スモール・ワールド ❄️ レット・イット・ビー
❄️ イエスタディ ❄️ 彼こそが海賊〜『パイレーツ・オブ・カリビアン』より

第二部合奏編は、県内中学随一のギター部、広陵中学校ギター部の皆さんの奏でる繊細なメロディーで幕を開けました。どの曲も、誰もが耳にしたことがあるナンバーで、会場の皆さんがじっくりと聴き入っている姿が印象的でした。耳に入ってくる一つ一つの音が心地よく、ゆったりとした時間が流れました。



心地よいメロディーで、時間を忘れてしまうようなひとときでした。

宮城県宮城広瀬高等学校 吹奏楽部

❄️ さくらのうた ❄️ 広瀬オリジナルメドレー「ひろナンデス」

次に登場したのは、宮城広瀬高等学校吹奏楽部の皆さんです。スタンダードな名曲に続いて毎年恒例の広瀬オリジナルメドレーは、楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。今年も演奏はもちろんのこと、様々な期待を裏切らない演出で、会場を大いに沸かせてくれました。今年も最高のエンターテインメントを披露してくれました。

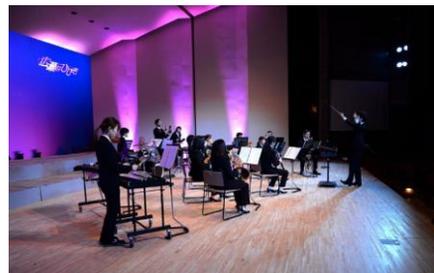


予想できない展開に観客の皆さんも大盛り上がりでした。

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 吹奏楽部

❄️ LOSER ❄️ 「クリスマスソング」 ❄️ シロクマ

さて、次に登場したのは、仙台高等専門学校広瀬キャンパス吹奏楽部の皆さんです。今年度からOBでいらっしゃる新指揮者を迎え、雰囲気も新たに演奏していただきました。J-POPの名曲や、甲子園の応援歌でも有名なシロクマなど、多彩な曲を披露していただき、皆さんが創り出す音の世界に思わず引き込まれる演奏でした。軽快なMCトークも好評でした。



一人ひとりのパフォーマンスが圧巻でした。



仙台市立折立中学校 吹奏楽部

❄️ 「映画ドラえもん のび太の宝島」 主題歌 ドラえもん
❄️ SEKAI NO OWARI メドレー ❄️ ホール・ニュー・ワールド

さて続いては、折立中学校吹奏楽部の皆さんの登場です。ドラえもんや、アラジンなど映画の主題歌2曲の他、若い世代に大人気のSEKAI NO OWARIメドレーも披露していただきました。一人ひとりスポットライトを浴びて演奏する度に、会場内に大きな拍手が沸き起こりました。MCでは学校の紹介もあり、折立中学校に興味を持ったお客様も多かったのではないのでしょうか。



小人数だからこそ一人ひとりが演奏の主役です。

仙台市立広瀬中学校 吹奏楽部

❄️ 愛は勝つ ❄️ ALADDIN ❄️ COPACABANA

今年度から錦ヶ丘中学校と分離して、様々な環境の変化がありましたが、新生広瀬中学校吹奏楽部として今年も「広瀬のひびき」に参加してくれた皆さん。3曲目の「COPACABANA」では、全員で立ち上がりステップを踏みながらの演奏が見事でした。最後のポーズもピシッと決まっていて、そのかっこよさに会場は拍手喝采でした。



新生広瀬中学校吹奏楽部の迫力あるサウンドがホールに響きました。

仙台市立大沢中学校 吹奏楽部

❄️ テキーラ ❄️ パプリカ ❄️ ヤングマン

次に登場したのは大沢中学校吹奏楽部の皆さんです。お客様が楽しんでいただける曲を用意くださったとのことで、「テキーラ」「パプリカ」「ヤングマン」と曲名を聞いただけでワクワクするような3曲を披露していただきました。ヤングマンでは、会場の皆さんも一緒に“YMCA!”の掛け声で大いに盛り上がりました。



楽しいラインナップに会場も盛り上がります。

仙台市立錦ヶ丘中学校 吹奏楽部

❄️ マーチ「シルバー・スピリッツ」 ❄️ 宿命 ❄️ 「天気の子」コレクション

さて、合奏編の最後を飾るのは錦ヶ丘中学校吹奏楽部の皆さんです。新設校でありながら今年度のマーチングコンテスト東北大会で金賞を受賞するなど、めざましい活躍をされています。披露していただいた3曲は全て違った曲調で、観客の皆さんも引きこまれていました。最後の曲「天気の子」コレクションでは、映画の世界を思い出しながら聴いている方も多かったのではないのでしょうか。



質の高いパフォーマンスにたくさんの拍手が送られました。





フィナーレ

エル・クンバンチェロ

フィナーレでは、合奏編すべての出演者が集い感動のメロディを響かせます。曲は毎回恒例の「エル・クンバンチェロ」。プエルトリコの作曲家ラファエル・フェルナンデスの書いた代表的なラテンナンバーで高校野球の応援歌としても有名な曲です。「エル・クンバンチェロ」とは、太鼓を叩いてお祭り騒ぎをするという意味だそうです。合奏編出演者全員で創り出すサウンドの感動は、出演者が、観客が、そして会場が一体となってホール全体が一つの“お祭り広場”と化した最後に相応しい賑わいとなりました。



フィナーレの総勢約130名での演奏は圧巻の一言。拍手が鳴り止みませんでした。



司会 宮城県宮城広瀬高等学校 放送部

「広瀬のひびき」を一緒に作り上げ、盛り上げてくれたのは、宮城広瀬高等学校放送部の皆さんです。Date FMのラジオに出演したり、児童への読み聞かせボランティア、各種コンテストへエントリーするなど、日頃から精力的に活動されているとのことで、今年も明るく元気に司会を務めてくれました。



合唱編を担当したお二人。可愛らしくもハキハキとした聞き取りやすいナレーションでした。

合奏編を担当したお二人。緊張していましたが、元気な声で盛り上げてくれました。



広瀬のひびき ボランティアスタッフ



舞台の準備や転換、片づけを行ってくれた宮城広瀬高等学校吹奏楽部の皆さん。吹奏楽では、素早い転換が重要です。自らの出演も含め手際よくステージをさばります。

広瀬のひびきは、ボランティアスタッフの皆さんの協力無しには運営できません。司会や受付、写真撮影、そして舞台運営など、縁の下の力持ちとして、今年も様々な協力をいただき誠にありがとうございました。



「毎回来てるよ～」という声もいただきました。次回もどうぞお楽しみに！

ご来場いただいたお客様へ

延べ1,500人ものお客様にご来場いただきました。寒い季節、広瀬のひびきにお越しいただき、また、出演者へのたくさんの拍手や温かい励ましのお言葉をありがとうございました。

(写真協力)
阿部 啓二さん
小島 良一さん